

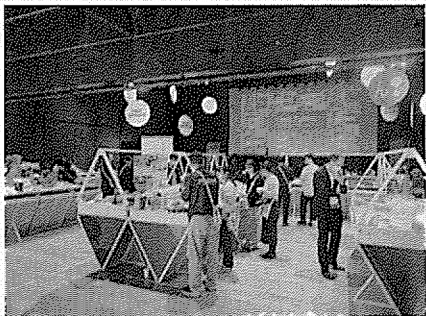
実績示し出合いの場

船場「エシカル

デザインウィーク」

デイスプリーの船場（東京）は12月5～7日、複合施設のウィズ原宿（東京都渋谷区）で「エシカルデザインウィーク2024」を開催した。今回はイベントのブース制作などを手掛ける博展と共催、前年の1・5倍にあたる55社のパートナー企業とともに、エシカル（倫理的）な取り組みを紹介した。

社外で行うようになって2回目となる今回は、企業同士の出合いの場を目指し



ており、参加は事前登録制とした。3日間で約1100人が集まり、エシカル分野の商談も行われたという。

展示、カンファレンス、ワークショップが行われた

55社のパートナー企業とともに発信した

が、「実績と課題を示したい」（福島正和エシカルデザインラボ所長）としており、船場のブースでは、ヤマハ発動機の横浜オフィスに開設された共創スペース「リジェラボ」での廃材のアップサイクルや、コクヨの事業所を「ゼロウェイスト」の仕組みで改装、96・2%のリサイクル率を達成した事例を展示した。博展のブースではエシカルデザインウィーク自体が66%の資源循環率で開催されていることを紹介した。